

「床塗料シリーズ 密着!!コンクリには」塗装仕様書

【材料一覧表】

| 商品名 | 材料 | 希釈 |
|--------------------|---------------------|-------------------|
| 床塗料シリーズ 密着!!コンクリには | 二液型ポリアミド硬化型エポキシ樹脂塗料 | 専用レデューサーを使用し、最大5% |
| エポキシ専用レデューサー | エポキシ専用シンナー | - |

【床塗装工程】

(20°C, 60%RH)

| | | | | | | | | | | |
|------|--|------------|--------------------------|---------------|--------------|------|----------------------------|--------------|--------------|--------------|
| 素地調整 | ・新設のコンクリート場合、表面に付着しているエフロ(白い粉)をペーパーやワイヤーブラシで除去して下さい。 | | | | | | | | | |
| | ・コンクリート表面が鏡面仕上げ(ツルツル)の場合、ペーパーやマジックロン等で目荒らしをして下さい。 | | | | | | | | | |
| | ・旧塗膜が完全に剥がれ素地が露出している部分、剥がれの恐れがある部分はスクレーパー・剥離剤などで塗膜を完全に除去して下さい。 | | | | | | | | | |
| | ・旧塗膜の活膜部分は表面を目荒らしして頂ければそのままでも結構です。ただし、シンナーで溶ける場合は完全に除去して下さい。 | | | | | | | | | |
| | ・表面に油脂が付着している場合は脱脂作業を行ってください。浸み込んで脱脂しきれない場合は、“床塗料シリーズ 密着!!油まみれでも”をご使用ください。 | | | | | | | | | |
| | ・表面に水分が残っている場合、バーナー等で加熱し、十分に乾燥をとってください。 | | | | | | | | | |
| | ・フェロコンやカラーコンクリートの場合は研磨機による表面研磨を行ってください。(※1) | | | | | | | | | |
| | ・素地調整の後、塗装の直前には、必ずシンナーもしくはアルコール等で脱脂を行うようにして下さい。 | | | | | | | | | |
| 塗装 | 商品名 | 塗回数 (回) | 色相 | 混合比率 (重量比) | 希釈率 (重量比) | 塗装方法 | 塗布量 (g/m ²) | 乾燥膜厚 (μm) | 指触乾燥 (※2) | 最終養生 (※3) |
| | 床塗料シリーズ 密着!!コンクリには | 1 | 10色 (カタログ参照) 調色対応可 | 主剤 1 硬化剤 1 | 0-5% | ローラー | 250 | 120-140 | 3h | 8h |

※1 フェロコン、カラーコンクリートの場合は、ご使用前に電話でお問い合わせください。

※2 塗り重ねが可能な時間です。基本は1回塗りですが、コンクリート表面の状態によっては塗料を吸い込みやすい場合があります。その際は一度捨て塗りをして、指触乾燥後に2回目の塗装をするとツヤのある仕上がりになります。

※3 人が通行可能な時間です。車やフォークリフト等の重量物の通行の際には12~24時間以上の乾燥時間を取るようお願いします。気温20°Cでの目安になります。現場環境(気温、湿度、床面の状態、など)によって、時間は前後します。

【使用方法】

- 1) 使用する前に主剤・硬化剤それぞれを電動工具で混合し、沈殿物が無くなり、粘度が均一になるまで攪拌して下さい。
- 2) 主剤と硬化剤を秤で既定の割合(1:1)で量り取り、攪拌機等で3~5分よく混ぜ合わせて下さい。
- 3) 希釈は推奨していませんが、高温時塗装しにくい場合は5%を限度に当社専用エポキシ専用レデューサーを使用し希釈してください。
- 4) 塗装はローラー・刷毛を使用してください。
- 5) 滑り止め(ノンスリップ)加工を行う場合は、塗料の重量の20%を目安に珪砂を入れてよく混ぜます。
珪砂は4~5号、ローラーは中毛以上が推奨です。珪砂は沈殿しやすいため、塗装する際はバケツ内の塗料をローラーでよく攪拌して下さい。珪砂を入れた場合、塗布量が1~2割程度増加します。
※他の工法として1度塗りした後珪砂を撒き、2度塗りをするよりムラなく仕上がります。
- 6) 使用後の容器・工具類は専用レデューサー又は洗浄用シンナーで洗浄して下さい。

【使用上の注意】

- 1) 天候の良い日を選び、被塗面に結露(水分)が無いかを確認してから作業をするようにして下さい。(気温5度以上、湿度80%以下)
水分があると塗膜表面のツヤ落ち(白化現象)の原因となります。気温が極端に低い(5°Cを下回る)場合、硬化不良を起こす可能性があります。
- 2) 塗料は常温で1時間(夏場30分、冬場2時間)以内で使い切れる量を混合して下さい。
時間が経って粘度が上がった塗料を希釈するのはお控え下さい。
- 3) 希釈には弊社の専用レデューサーを御使用下さい。他社のエポキシシンナーを使用されると、塗料の分離や硬化不良の原因となります。
- 4) 屋外および日光にさらした場合、黄変、色あせ、チョーキングが起こる場合がありますが、密着性に悪影響を与えるものではありません。



〒306-0313 茨城県猿島郡五霞町元栗橋5971番地31
TEL.0280-80-0005(代) FAX.0280-80-0006(代)
E-mail:support@somayq.com http://www.somayq.com